

令和8年4月末の電話でお金詐欺(特殊詐欺)発生傾向(暫定値)

認知件数 169件(前年同期比+42件)
被害額 14億5,218万円(前年同期比+5億2,891万円) 被害額1万円未満切り捨て

最近の二セ警察詐欺の特徴について

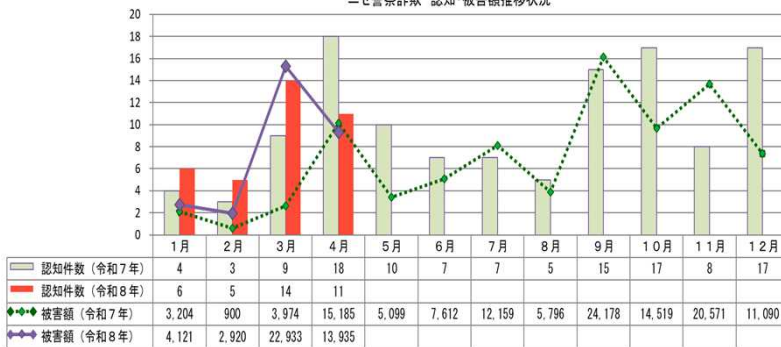
被害額の増加が顕著

4月末における二セ警察詐欺の被害は36件(前年同期比+2件)、被害額4億3,909万円(前年同期比+2億646万円)であり、被害件数・被害額ともに増加傾向にあります。

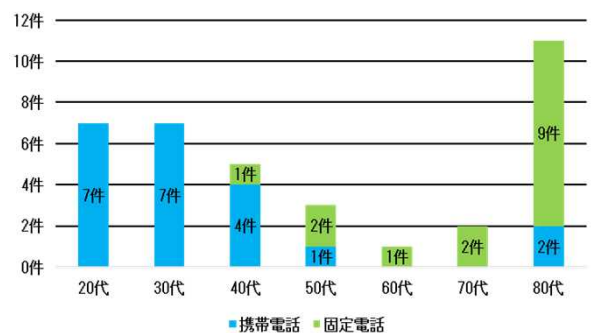
50代以下は携帯電話、60代以上は固定電話の傾向が顕著

4月までに認知した二セ警察詐欺における犯人からの接触方法は、全て電話であり、20代から50代は携帯電話への接触が19件(86.4%)、60代以上は固定電話が12件(85.7%)を占め、50代と60代を境に、接触方法が入れ替わる傾向にあります。

二セ警察詐欺 認知・被害額推移状況



接触方法の年代別内訳



注目!! だまされないための対策



警察庁推奨
詐欺の電話はアプリでブロック!
無料 特殊詐欺対策アプリ
国際電話をブロック*
詐欺電話をブロック
最新手口を把握

ダウンロードはこちら



警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ

詐欺の電話はアプリでブロック!!

- 携帯電話に詐欺の犯人から電話がかかってくるケースが急増しています。犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号などをアプリでブロックする対策が有効です。
- 固定電話の場合は、国際電話不取扱受付センターに国際電話利用休止の申込みをしましょう。

電話でお金詐欺（特殊詐欺）の類型について

【電話でお金詐欺の類型】

電話でお金詐欺（特殊詐欺）とは、被害者に電話やSNS等を通じて、対面することなく信頼させ又は関係を深めて信用させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいう。

ニセ警察詐欺	下記のいずれの要件も満たすもの。 ○警察官、検察官等の捜査機関をかたっていること ○携帯電話機や預貯金口座等の不正利用等を理由として、被害者自身に犯罪の嫌疑がある旨申し向けていること ○被害者の嫌疑を晴らすための「捜査名目（優先調査、資産回避等）」として、金銭等を要求していること
オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士、銀行協会職員等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）もの（「親族が起こした」とは、被害者本人も含む。）。
預貯金詐欺	親族、警察官、弁護士、銀行協会職員等を装い、「あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）もの。
キャッシュカード詐欺盗	警察官、銀行協会職員等を装って被害者に電話をかけるなどし、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、同キャッシュカード等を窃取するもの。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいい、これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものを含む。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信したりするなどし、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等と記載したメールを送付したりなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して、会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。
SNS型投資詐欺	投資をすれば利益が得られるものと誤信させ、投資アプリ等に誘導するなどし、虚偽の利益を表示する方法などにより心理的安心感を与え、架空の投資を継続させながら、投資金名目や利益の出金手数料名目などで金銭をだまし取るもの（SNS型ロマンス詐欺の投資名目に該当するものを除く。）。
SNS型ロマンス詐欺	○投資名目 恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭等をだまし取るもの。 ○その他のロマンス等名目 恋愛感情や親近感を抱かせながら架空の事実を口実とし、交際の継続等を前提とした各種名目で金銭等をだまし取るもの（SNS型ロマンス詐欺の投資名目に該当するものを除く。）。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。

発生概要

◆令和8年4月末 電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害認知件数・被害額 前年同期比(暫定値)

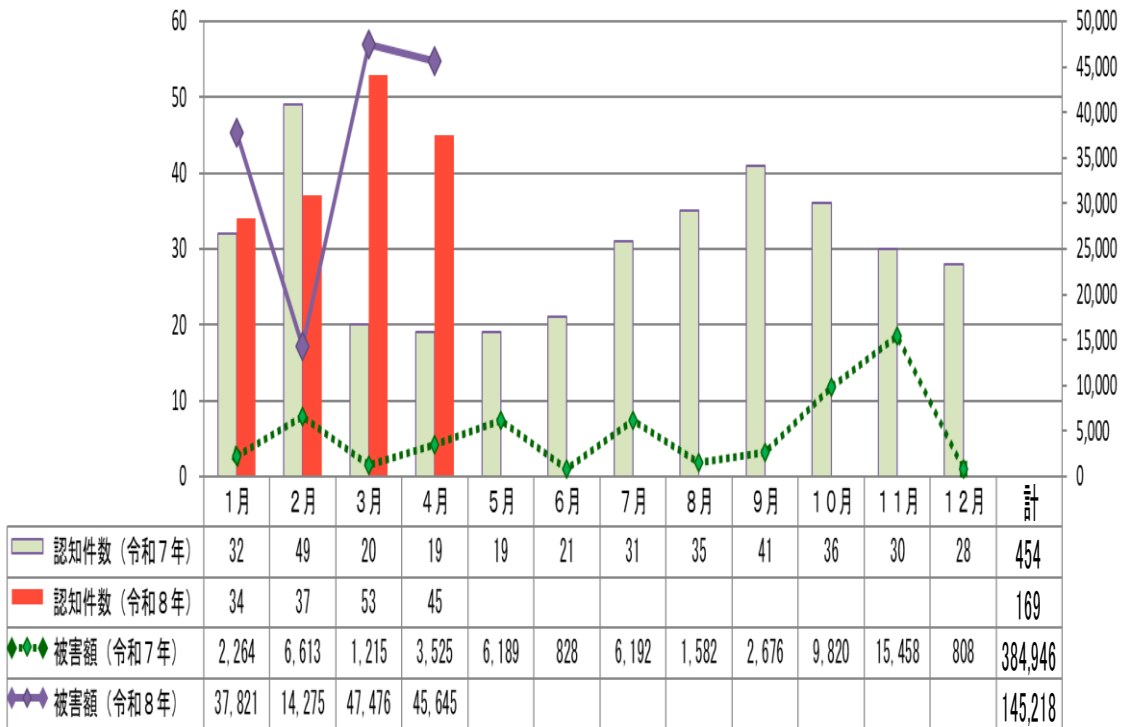
区分	令和7年中		令和7年4月末		令和8年4月末		前年同期比				
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率	
電話でお金詐欺(特殊詐欺)合計	454	3,849,463,344 (25,150,000)	127	923,276,789 (11,957,000)	169	1,452,189,754 (8,000,000)	42	33.1%	528,912,965 (-3,957,000)	57.3% (-33.1%)	
内 訳	ニセ警察詐欺	120	1,242,896,351 (8,357,000)	34	232,634,650 (8,357,000)	36	439,099,645 (8,000,000)	2	5.9%	206,464,995 (-357,000)	88.8% (-4.3%)
	オレオレ詐欺	15	86,000,000 (1,000,000)	3	37,200,000 ()	8	27,954,211 ()	5	166.7%	-9,245,789 ()	-24.9% ()
	預貯金詐欺	7	13,145,000 (13,145,000)	1	3,600,000 (3,600,000)	1	()			-3,600,000 (-3,600,000)	-100.0% (-100.0%)
	キャッシュカード詐欺盗	5	2,648,000 (2,648,000)		()		()			()	()
	架空料金請求詐欺	76	241,231,172	29	125,246,548	28	57,123,484	-1	-3.4%	-68,123,064	-54.4%
	還付金詐欺	17	20,142,135	9	8,769,131	2	2,496,241	-7	-77.8%	-6,272,890	-71.5%
	融資保証金詐欺	7	3,175,182	4	2,527,084	3	2,610,000	-1	-25.0%	82,916	3.3%
	金融商品詐欺	11	64,624,498	4	33,055,826	4	31,084,527			-1,971,299	-6.0%
	ギャンブル詐欺										
	交際あっせん詐欺	12	52,722,549	2	3,651,688	3	6,260,200	1	50.0%	2,608,512	71.4%
	SNS型投資詐欺	75	1,032,023,700	12	120,742,528	46	572,467,298	34	283.3%	451,724,770	374.1%
	SNS型ロマンス詐欺	103	1,083,448,187	28	355,249,334	37	307,492,148	9	32.1%	-47,757,186	-13.4%
	その他の特殊詐欺	6	7,406,570	1	600,000	1	5,602,000			5,002,000	833.7%

※令和8年4月から、ニセ警察詐欺をオレオレ詐欺から独立した手口として位置付けたほか、SNS型投資・ロマンス詐欺を電話でお金詐欺(特殊詐欺)の一手口と位置付け、これら全体を電話でお金詐欺(特殊詐欺)として整理しています。

【認知状況】

- 4月末までの認知件数は169件(前年同期比+42件)、被害額は14億5,218万円(前年同期比+5億2,891万円)、1件当たりの被害額は859万円(前年同期比+132万円)であり、被害件数・被害額ともに増加した。
- 4月末時点で発生が多い手口はSNS型投資詐欺が46件、SNS型ロマンス詐欺が37件、ニセ警察詐欺が36件、架空料金請求詐欺が28件であった。
- 犯人からの接触方法は、SNSが96件、電話が50件、ウェブサイトが17件、電子メールが6件であり、接触方法が多様化している。
ニセ警察詐欺における犯人からの接触方法は、全て電話であり、犯人が使用した電話番号として判明している26件のうち14件(53.8%)が国際電話であった。
- ニセ警察詐欺において、犯人が最初に詐称した身分は警察官以外が16件であり、内訳は通信事業者が11件、金融機関が4件、官公庁が1件で、その大半は、着信に应答すると「2時間後に電話が使えなくなる」などと自動音声ガイダンスが流れ、案内に従って指定された番号を押すと、それぞれの身分を名のる者から「犯罪に巻き込まれている可能性があり、警察に被害届を提出してもらう必要がある」などと言われ、警察官を名のる者に電話が転送される手口であった。

○ 月別 被害件数・被害額 前年比

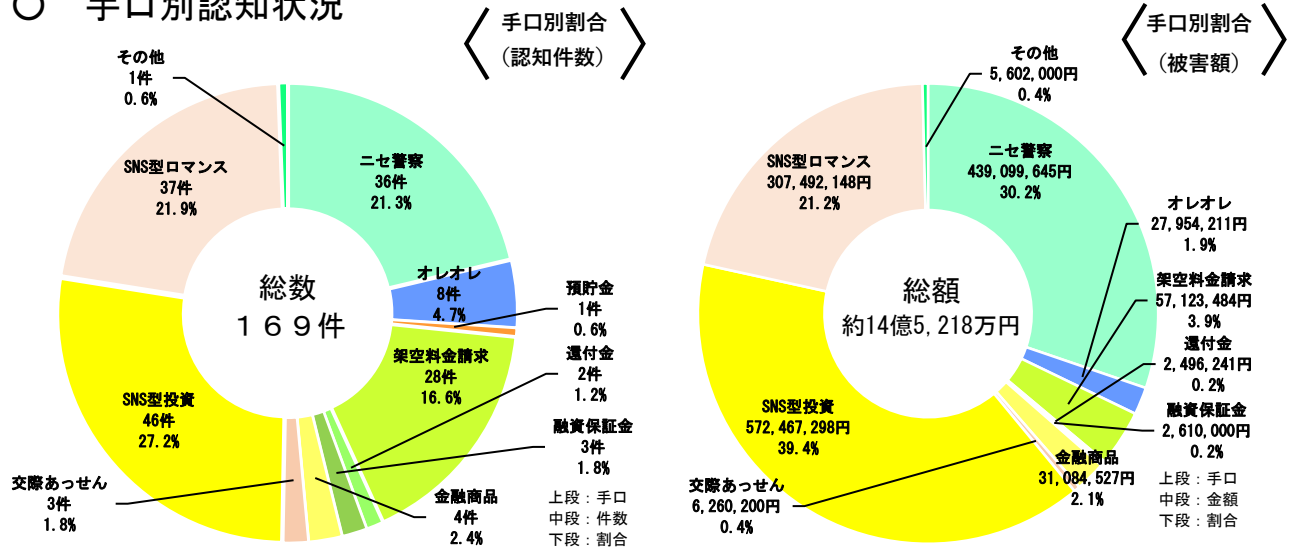


○ 月別 被害件数 手口別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
ニセ警察	6	5	14	11									36件	21.3%
オレオレ	1	1	1	5									8件	4.7%
預貯金			1										1件	0.6%
キャッシュカード 詐欺盗													0件	0.0%
架空料金請求	6	7	8	7									28件	16.6%
還付金			1	1									2件	1.2%
融資保証金		1		2									3件	1.8%
金融商品	2	1	1										4件	2.4%
ギャンブル													0件	0.0%
交際あっせん		1	2										3件	1.8%
SNS型投資	15	7	14	10									46件	27.2%
SNS型ロマンス	4	14	11	8									37件	21.9%
その他				1									1件	0.6%
合計	34	37	53	45									169	

◆ 詳細

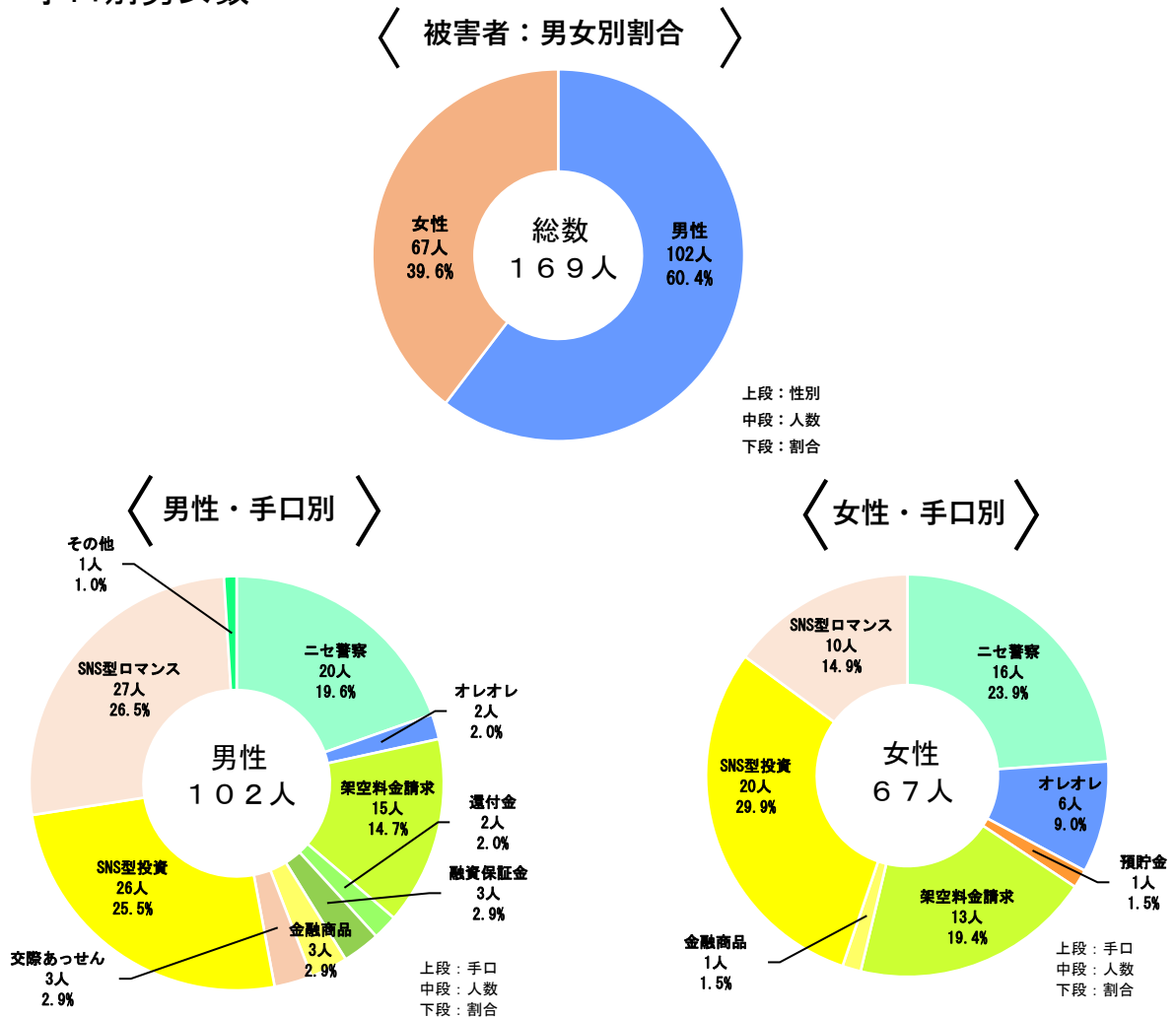
○ 手口別認知状況



○ 被害者の職業

	無職	会社員・会社役員	公務員・団体職員	パート・契約社員等	自営業	アルバイト	その他	合計
人数 (人)	45	59	12	26	24	3	0	169
割合	26.6%	34.9%	7.1%	15.4%	14.2%	1.8%	0.0%	100.0%

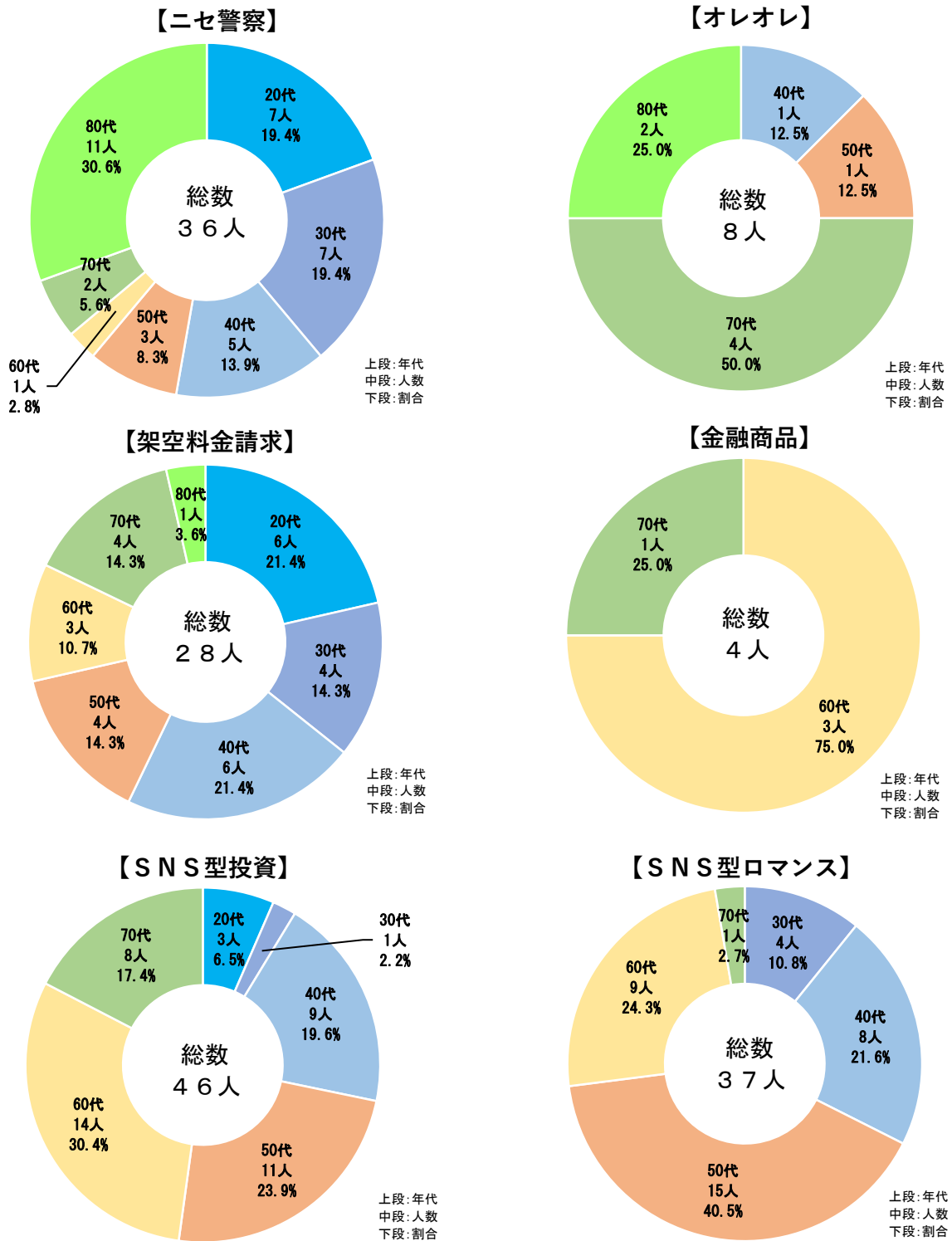
○ 手口別男女数



○ 年代別一覽

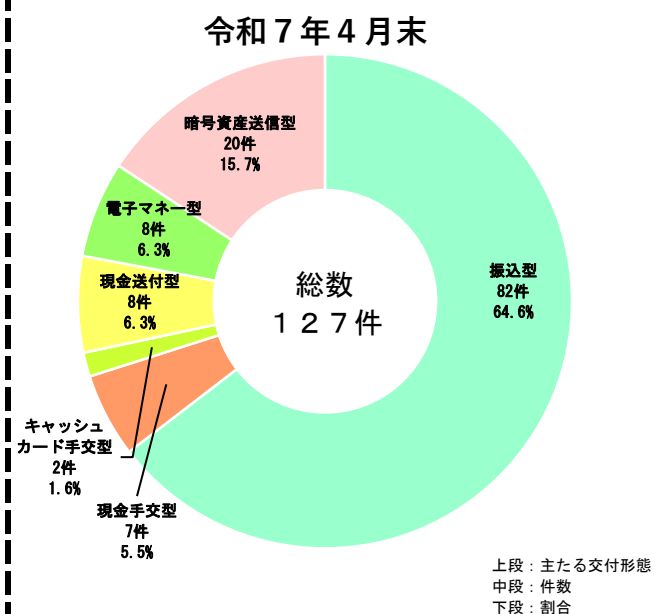
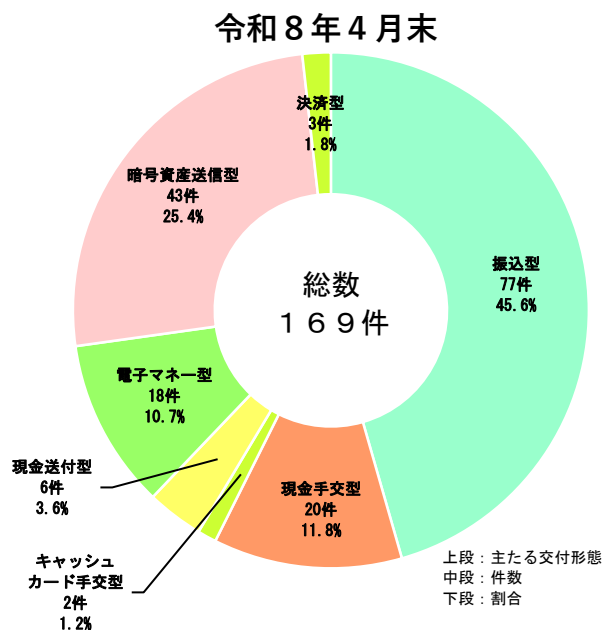
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	
割合	0.0%	9.5%	9.5%	18.3%	22.5%	18.3%	13.6%	8.3%	0.0%	169	
人数(人)	0	16	16	31	38	31		23	14		0
						20	11				
高齢者別	高齢者以外					高齢者(65歳以上)					
	121					48					
割合	71.6%					28.4%					

○ 手口別 年齢構成比

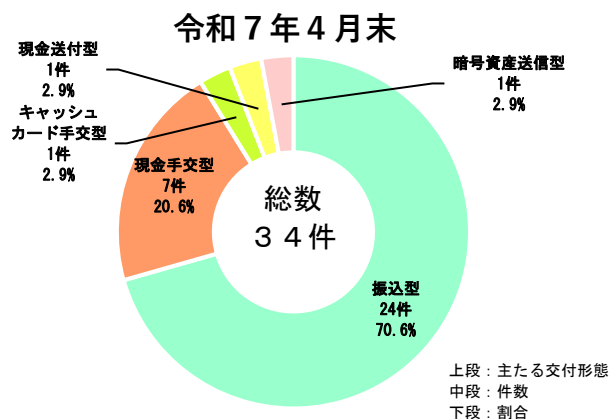
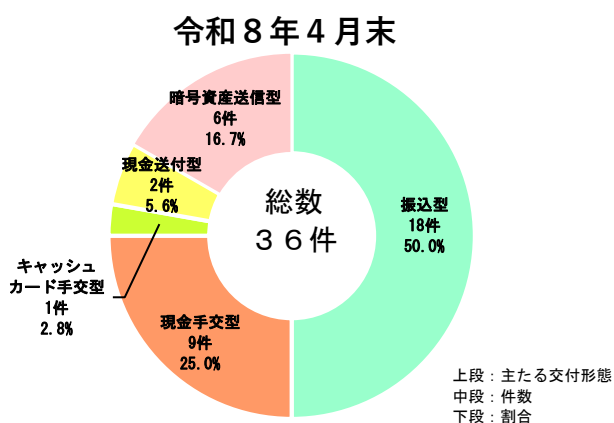


○ 交付形態別割合（手口別、前年同期比）

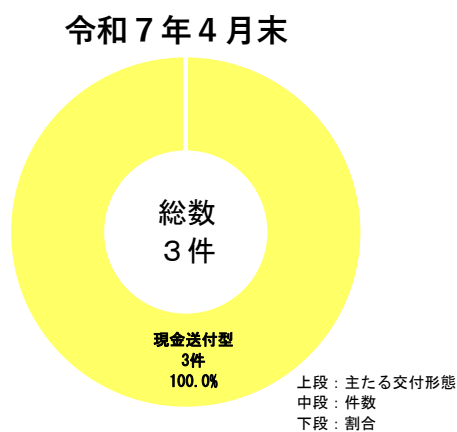
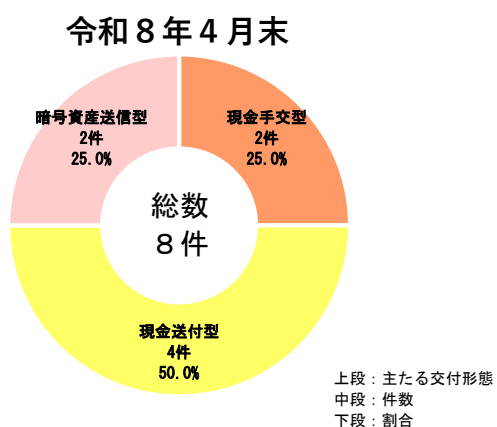
【主たる交付形態】（交付形態が複合した場合、被害額が多い交付形態を主たるものとして集計）
（電話でお金詐欺全体）



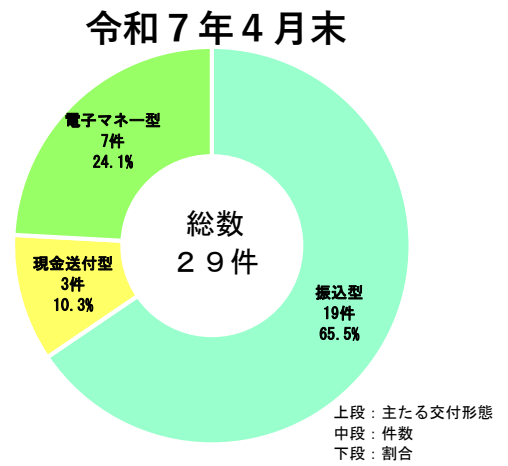
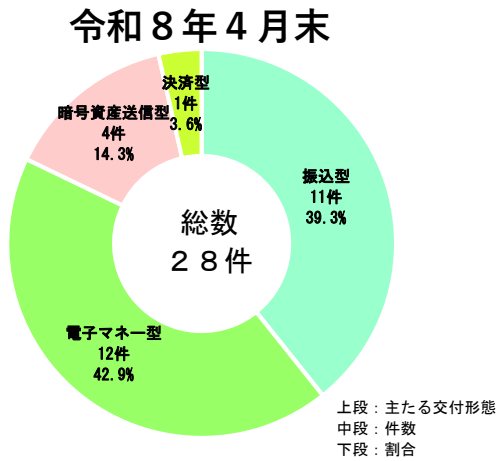
【二七警察詐欺（前年同期比較）】



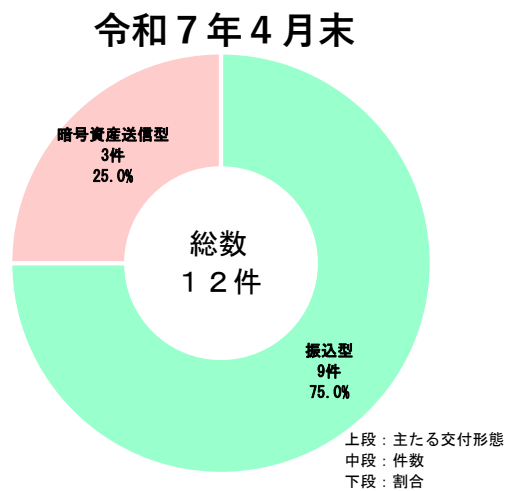
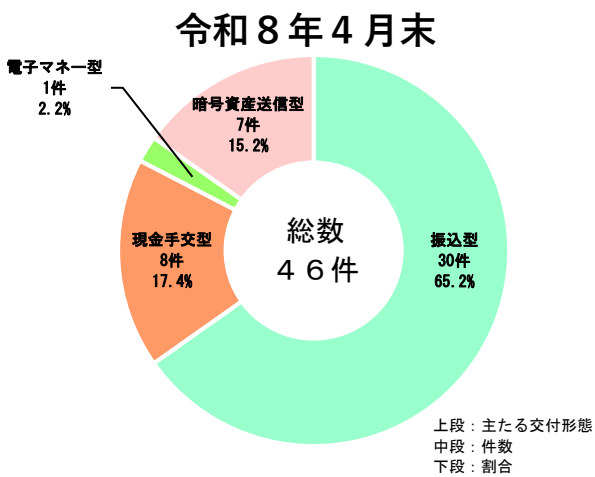
【オレオレ詐欺（前年同期比較）】



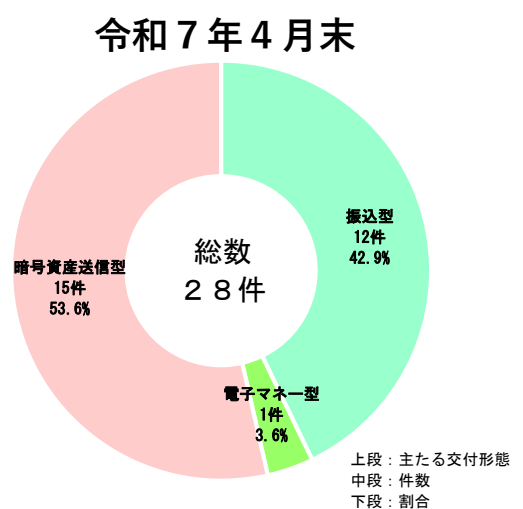
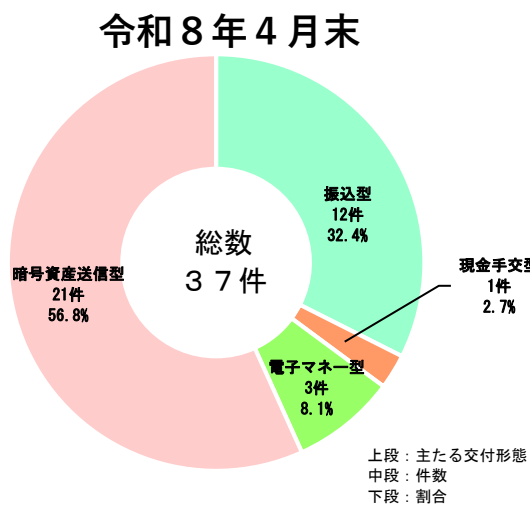
【架空料金請求詐欺】（前年同期比較）



【SNS型投資詐欺】（前年同期比較）



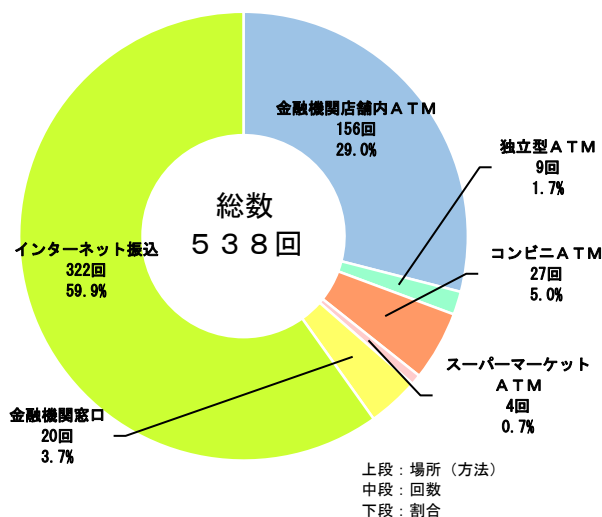
【SNS型ロマンス詐欺】（前年同期比較）



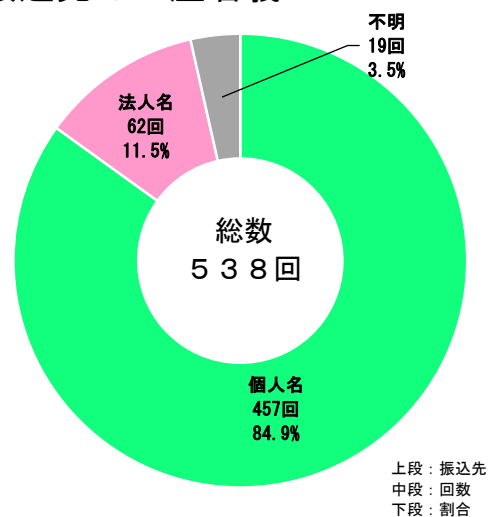
○ 交付方法（延べ数）

	窓口振込	ATM振込	ネット振込	自宅(手交)	呼出(手交) (駅・路上等)	宅配便	送付(その他)	電子決済	クレジットカード	暗号資産	電子マネー	収納代行	キャッシュカード 複製型	未遂	合計
回数	20	196	322	46	14	16	1	33	2	216	216	0	0	0	1,082
被害額(円)	52,305,057	111,631,437	508,618,234	282,311,550	100,200,000	37,052,080	3,175,000	2,490,613	249,730	339,526,053	14,630,000	0	0	0	1,452,189,754
1回あたりの金額	2,615,253	569,548	1,579,560	6,137,208	7,157,143	2,315,755	3,175,000	75,473	124,865	1,571,880	67,731	0	0	0	1,342,135
交付割合	1.8%	18.1%	29.8%	4.3%	1.3%	1.5%	0.1%	3.0%	0.2%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
被害額割合	3.6%	7.7%	35.0%	19.4%	6.9%	2.6%	0.2%	0.2%	0.0%	23.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

○ 振込形態・場所（延べ数）



○ 振込先の口座名義

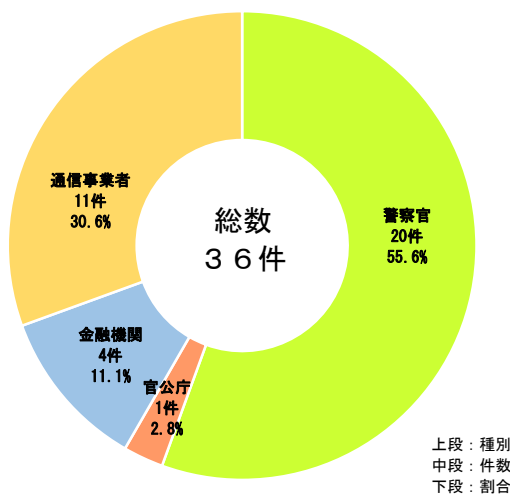


○ 主な手口の名目・かたり

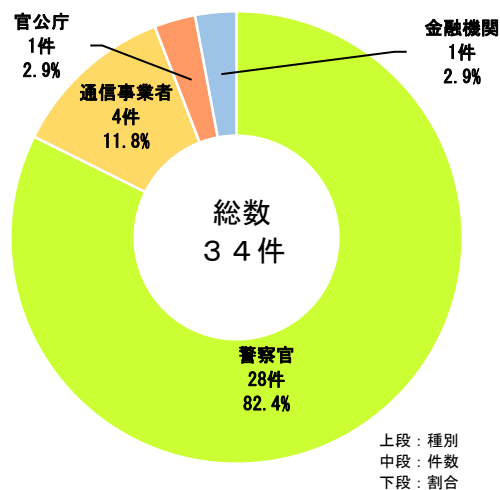
【ニセ警察詐欺における当初接触時のかたり】

（前年同期比較）

令和8年4月末



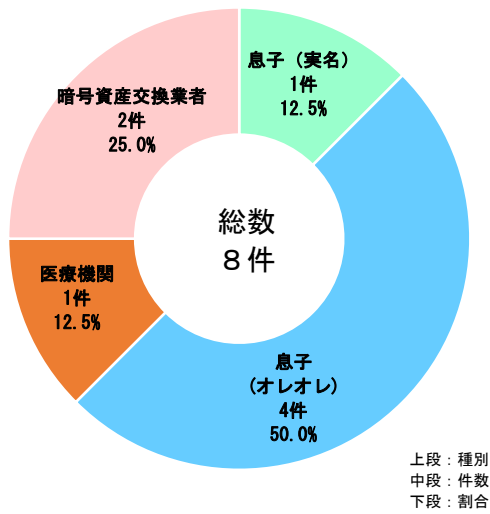
令和7年4月末



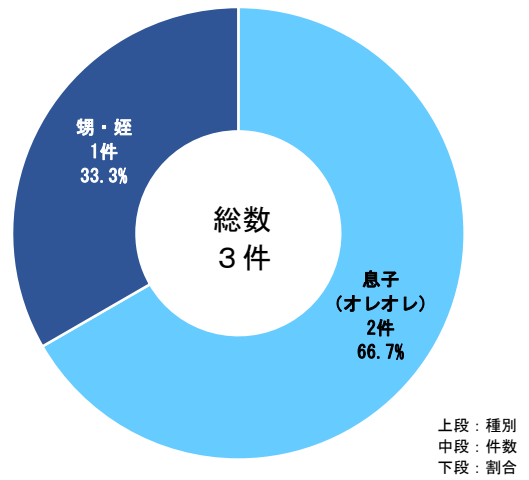
※当初接触時のかたりが警察官以外のもは、「あなたが犯罪に巻き込まれている可能性がある」などと言われ、警察官を名乗る者に電話が転送されています。

【オレオレ詐欺のかたり】（前年同期比較）

令和8年4月末

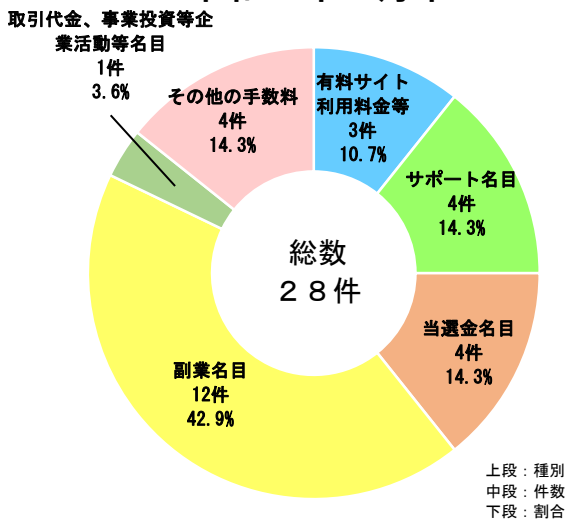


令和7年4月末

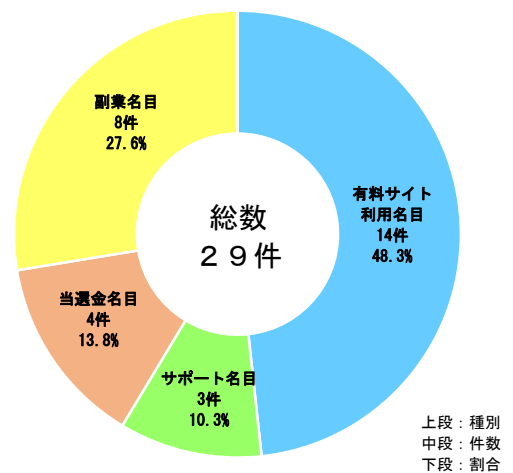


【架空料金請求詐欺の支払い名目】
（前年同期比較）

令和8年4月末



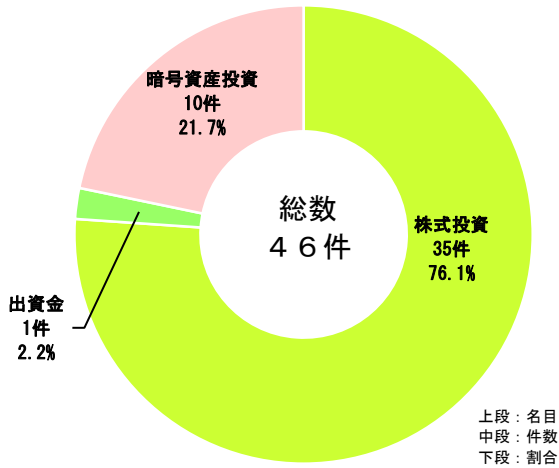
令和7年4月末



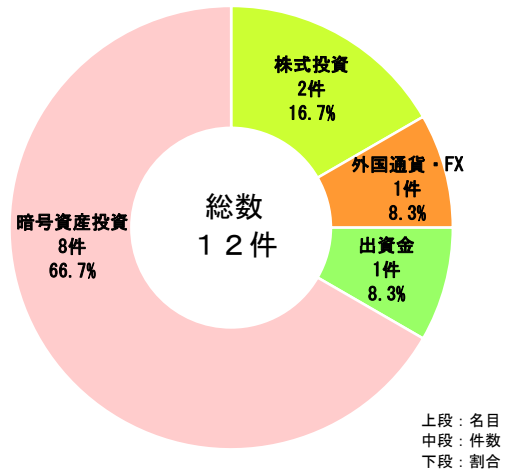
※グラフの取引代金、事業投資等企業活動等名目については、ニセ社長詐欺（いわゆるビジネスメール詐欺）の手口です。

【SNS型投資詐欺の支払名目】
(前年同期比較)

令和8年4月末

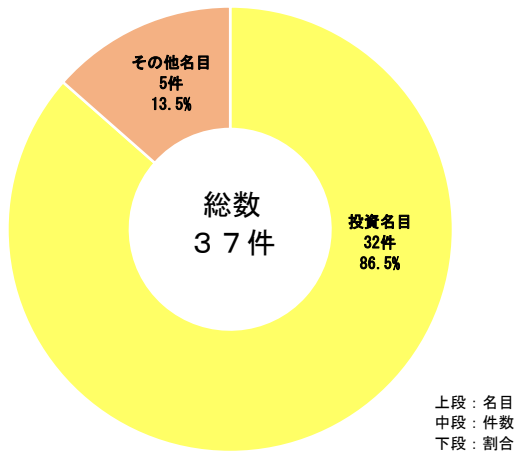


令和7年4月末

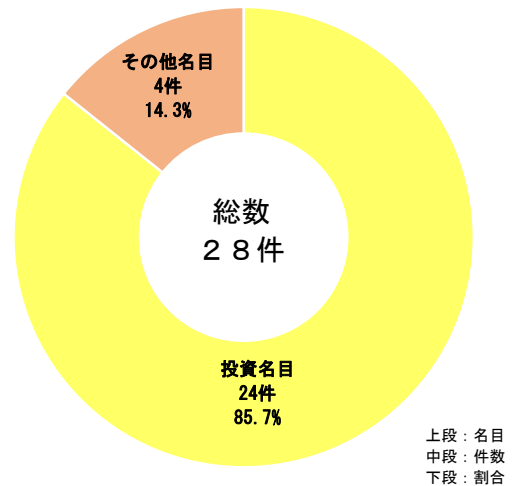


【SNS型ロマンス詐欺の支払名目】
(前年同期比較)

令和8年4月末

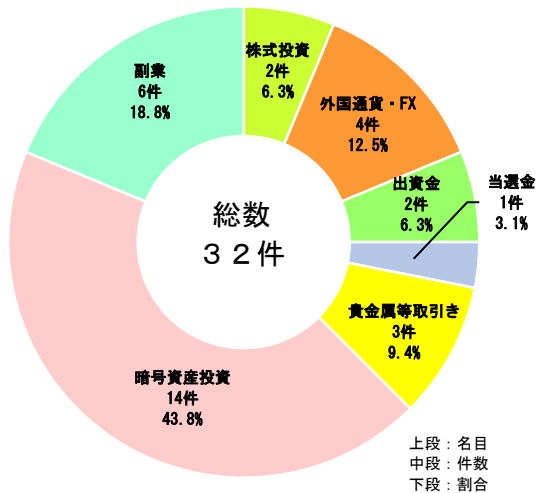


令和7年4月末

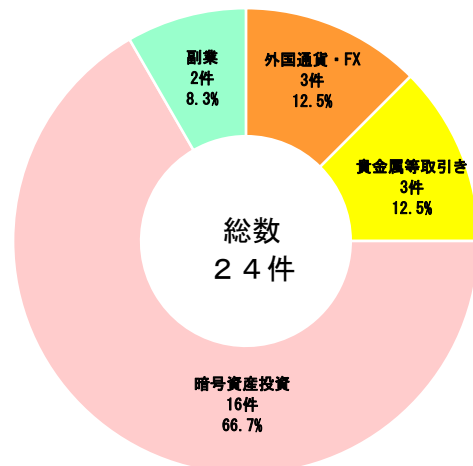


〈 SNS型ロマンス詐欺のうち
投資名目の内訳 〉

令和8年4月末

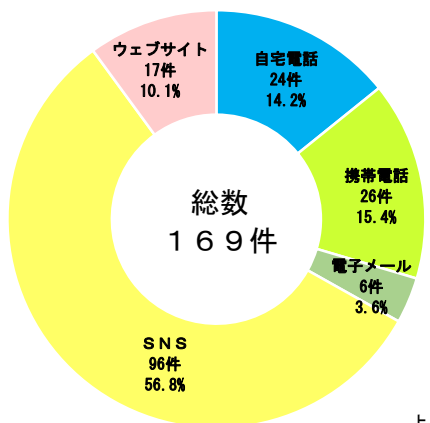


令和7年4月末



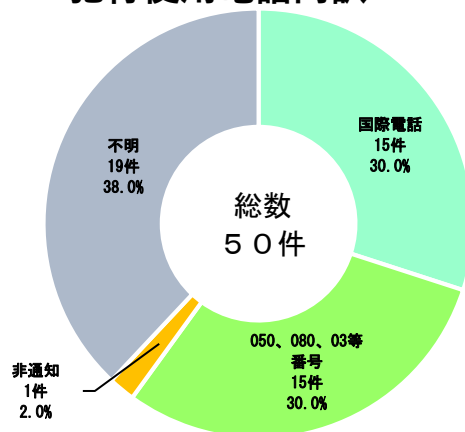
○ 犯人側からの接触方法

電話でお金詐欺被害全体



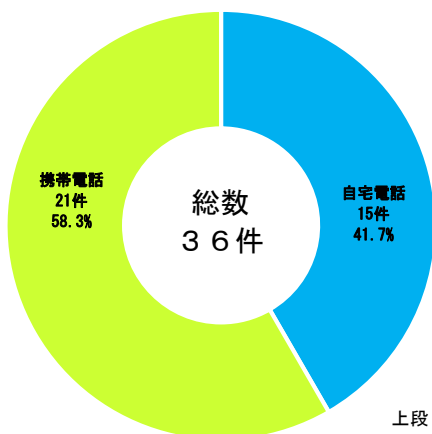
上段：方法
中段：件数
下段：割合

電話への接触のうち、
犯行使用電話内訳



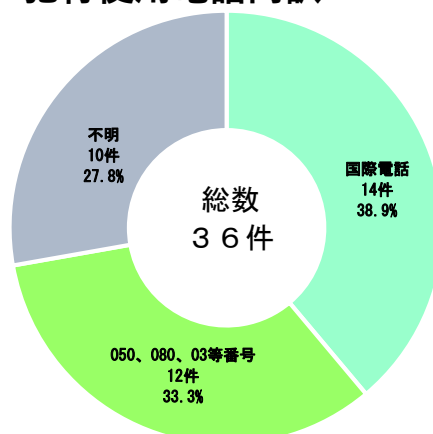
上段：電話種別
中段：件数
下段：割合

ニセ警察詐欺



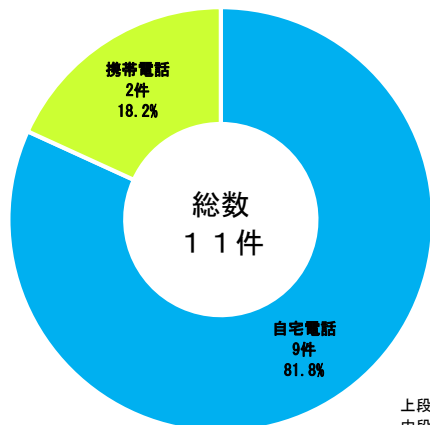
上段：方法
中段：件数
下段：割合

電話への接触のうち、
犯行使用電話内訳



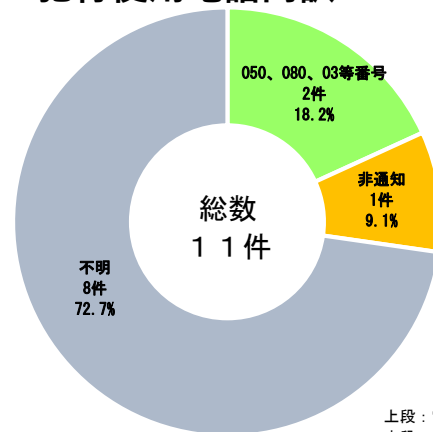
上段：電話種別
中段：件数
下段：割合

オレオレ詐欺 + 預貯金詐欺 + 還付金詐欺



上段：方法
中段：件数
下段：割合

電話への接触のうち、
犯行使用電話内訳



上段：電話種別
中段：件数
下段：割合

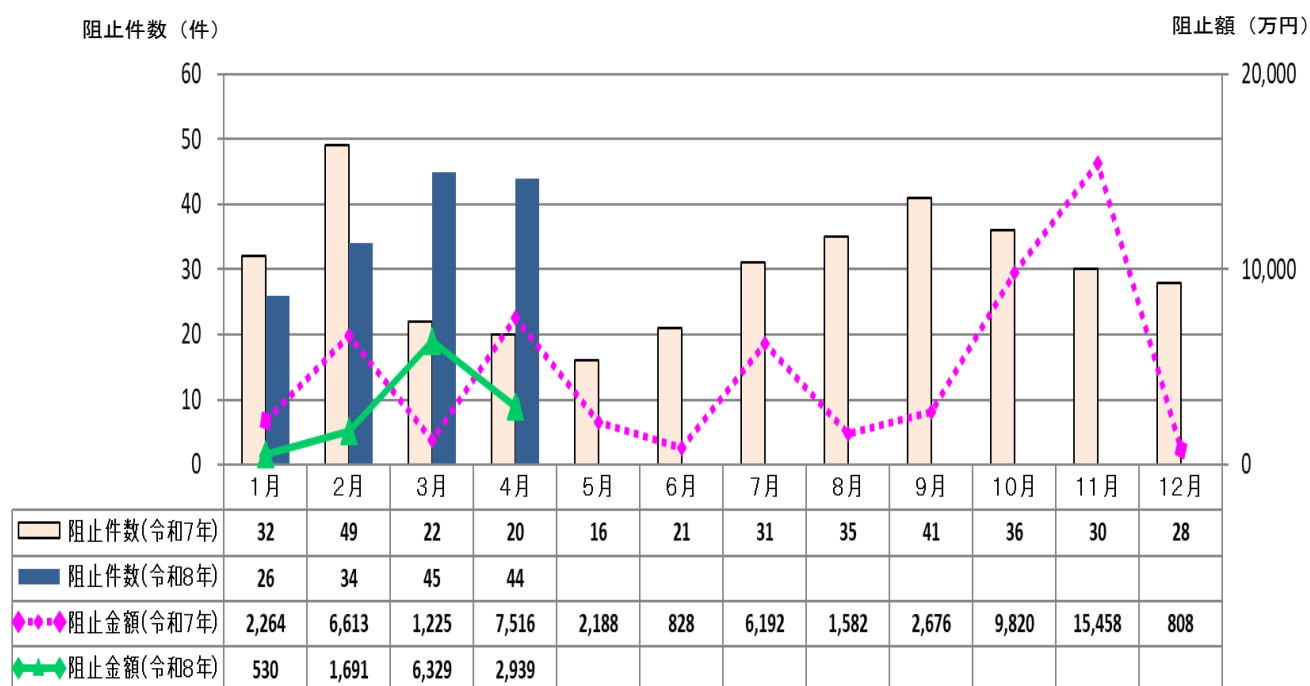
【阻止状況】

◆令和8年4月末 電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害阻止件数・阻止金額 前年同期比(暫定値)

区分	令和7年中		令和7年4月末		令和8年4月末		前年比		
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	
被害阻止 合計	361	571,759,205	123	176,189,400	149	114,913,980	26	-61,275,420	
内 訳	ニセ警察詐欺	87	358,999,000	16	112,900,000	49	52,270,000	33	-60,630,000
	オレオレ詐欺	30	79,641,000	14	31,200,000	5	8,300,000	-9	-22,900,000
	預貯金詐欺	0	0	0	0	0	0	±0	0
	架空料金請求詐欺	168	30,788,147	68	11,826,400	60	7,653,980	-8	-4,172,420
	還付金詐欺	13	0	5	0	10	5,000,000	5	5,000,000
	融資保証金詐欺	0	0	0	0	1	2,000,000	1	2,000,000
	金融商品詐欺	7	4,324,180	1	2,000,000	3	31,520,000	2	29,520,000
	ギャンブル詐欺	0	0	0	0	0	0	±0	0
	交際あっせん詐欺	6	1,173,000	2	13,000	3	310,000	1	297,000
	SNS型投資詐欺	25	58,870,000	6	13,330,000	8	7,200,000	2	-6,130,000
	SNS型ロマンス詐欺	25	37,963,878	11	4,920,000	10	660,000	-1	-4,260,000
	その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	±0	0
				阻止率 (%)	49.2	阻止率 (%)	46.9	増減 (%)	-2.3

※ 阻止率=阻止件数÷(未遂事件を除いた認知件数+阻止件数)

○ 月別 阻止件数・阻止額 前年比



※ 阻止額の1万円未満は切り捨て

○ 被害阻止者 手口別（前年同期比較）

被害阻止者(件)	電話でお金詐欺															阻止金額(円)
	年別	合計 (%)		ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん	SNS型投資	SNS型ロマンス	その他	
合計	R8.4	149	100.0%	49	5	0	60	10	1	3	0	3	8	10	0	114,913,980
	R7.4	123	100.0%	18	12	0	68	5	0	1	0	2	6	11	0	176,189,400
金融機関職員	R8.4	44	29.5%	16	2	0	8	8	1	2	0	0	6	1	0	86,823,000
	R7.4	32	26.0%	9	2	0	9	2	0	1	0	0	5	4	0	87,085,700
コンビニ店員	R8.4	54	36.2%	0	0	0	44	0	0	1	0	2	0	7	0	4,852,980
	R7.4	59	48.0%	0	0	0	50	1	0	0	0	2	0	6	0	5,893,000
運送業者	R8.4	1	0.7%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R7.4	2	1.6%	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,000,000
警察官	R8.4	13	8.7%	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500,000
	R7.4	1	0.8%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族・親族	R8.4	23	15.4%	13	2	0	5	1	0	0	0	0	0	2	0	8,653,000
	R7.4	21	17.1%	5	9	0	4	2	0	0	0	0	1	0	0	37,550,700
友人・知人	R8.4	5	3.4%	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	14,030,000
	R7.4	1	0.8%	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000
一般人	R8.4	1	0.7%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	R7.4	1	0.8%	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
その他	R8.4	8	5.4%	3	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	55,000
	R7.4	6	4.9%	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	37,310,000

※ その他の内訳：SNS（2件）、携帯電話販売店（1件）、障害者支援事業所（1件）、防災無線（1件）
訪問介護事業所（1件）、ドラッグストア（1件）、市役所職員（1件）

◆ 令和8年4月末 前兆事案件数

手口	令和7年4月末		令和8年4月末		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話	前兆事案のうち 犯行予兆電話
ニセ警察詐欺	1,255	(1,246)	942	(924)	-313	(-322)	-24.9%	(-25.8%)
オレオレ詐欺	1,041	(1,027)	871	(852)	-170	(-175)	-16.3%	(-17.0%)
預貯金詐欺	0	(0)	1	(1)	1	(1)	-	(-)
架空料金請求詐欺	410	(181)	308	(115)	-102	(-66)	-24.9%	(-36.5%)
還付金詐欺	86	(86)	54	(46)	-32	(-40)	-37.2%	(-46.5%)
金融商品詐欺	3	(1)	2	(1)	-1	(0)	-33.3%	(0.0%)
SNS型投資	8	(0)	26	(0)	18	(0)	225.0%	(-)
SNS型ロマンス	19	(0)	23	(0)	4	(0)	21.1%	(-)
その他	298	(286)	140	(125)	-158	(-161)	-53.0%	(-56.3%)
合計	3,120	(2,827)	2,367	(2,064)	-753	(-763)	-24.1%	(-27.0%)